

一次修復不能腱板断裂に対する 小径骨頭腱板修復術の治療経験

厚生連高岡病院

整形外科

岡本 春平 坂越 大悟 太田 敬

濱田 知 西村 愛世 鳥畠 康充

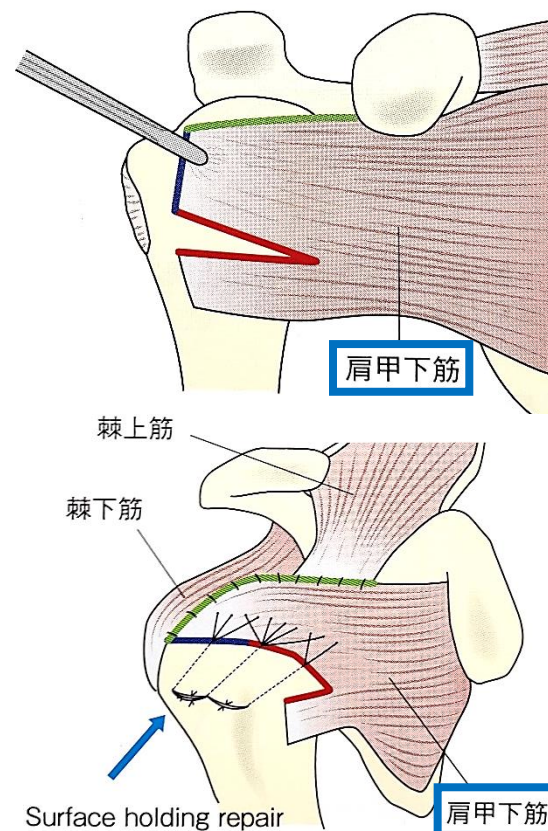
始めに

一次修復不能な腱板断裂に対する治療

- 部分修復術
- 上方関節包再建術
- 筋腱移行術
- 筋前進術
- 小径骨頭腱板修復術
- リバーース人工肩関節置換術

当科の小径骨頭腱板修復術の適応

- ・ 関節症性変化 (Cuff tear arthropathy含む)
- ・ 肩甲下筋腱と小円筋腱が保たれている
- ・ 70歳未満



目的

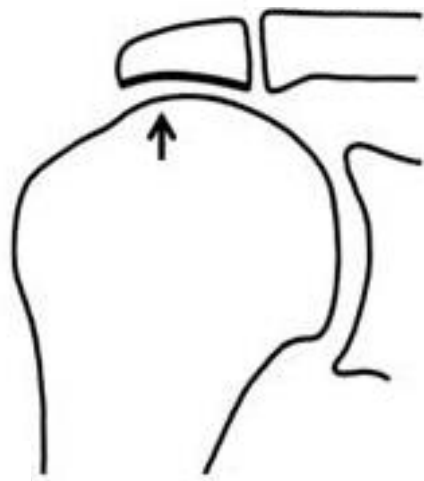
小径骨頭腱板修復術の

治療成績を検討すること

对象

11例 **11肩** (男性 8例, 女性 3例)

- 手術時平均年齡 : 67.5 ± 5.8 歳
- 手術平均時間 : 139.8 ± 25.9 分
- 平均經過觀察期間 : 20.6 ± 10.6 力月
- Hamada分類



Grade 3
AHI ≤ 5 mm
acetabularization

1肩



Grade 4
Grade 3
+
GH joint space narrow

10肩

検討項目

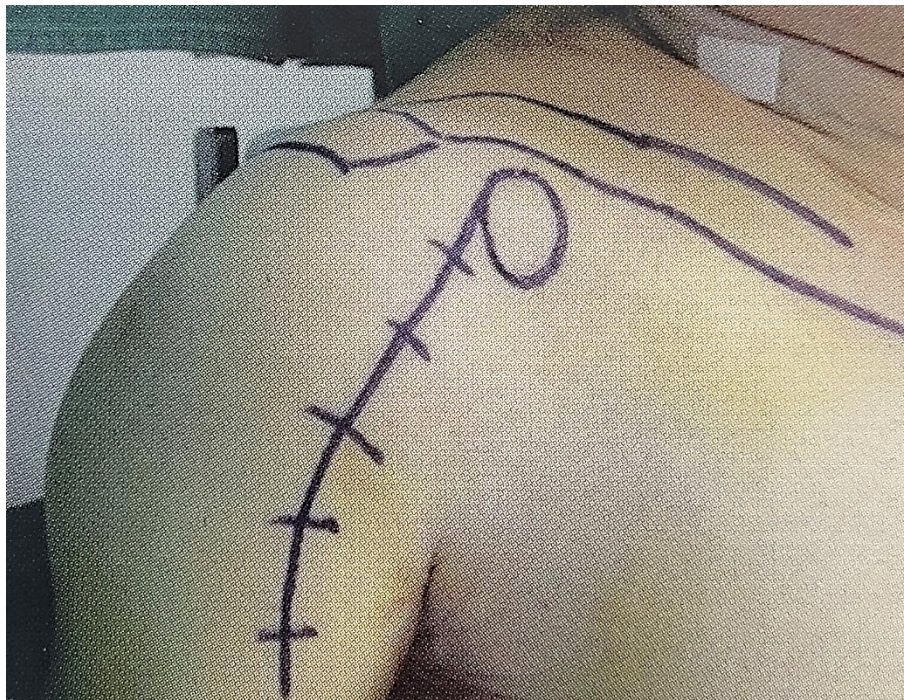
- **アプローチ法**
- **術前後のJOA score**
- **術前後のROM** (挙上・下垂位外旋)
- **合併症**

(Mann-Whitney U-test 有意水準5%)

結果

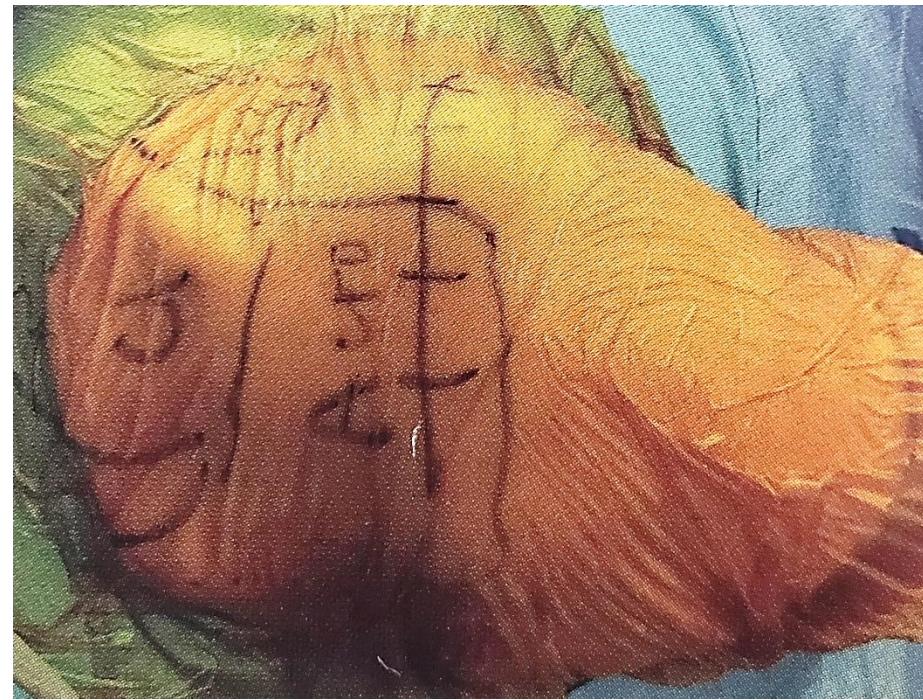
アプローチ法

前方アプローチ



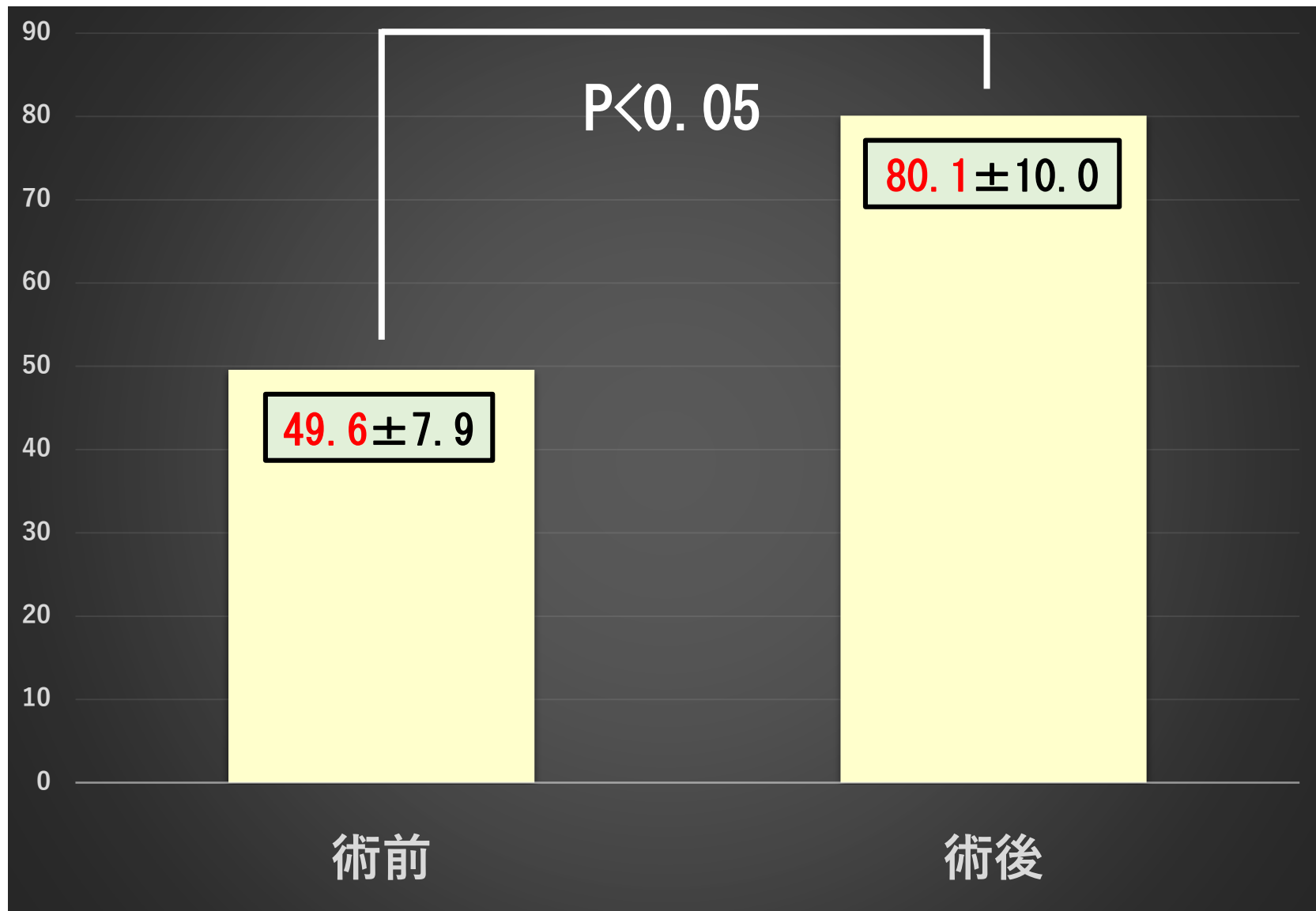
4肩

上方アプローチ

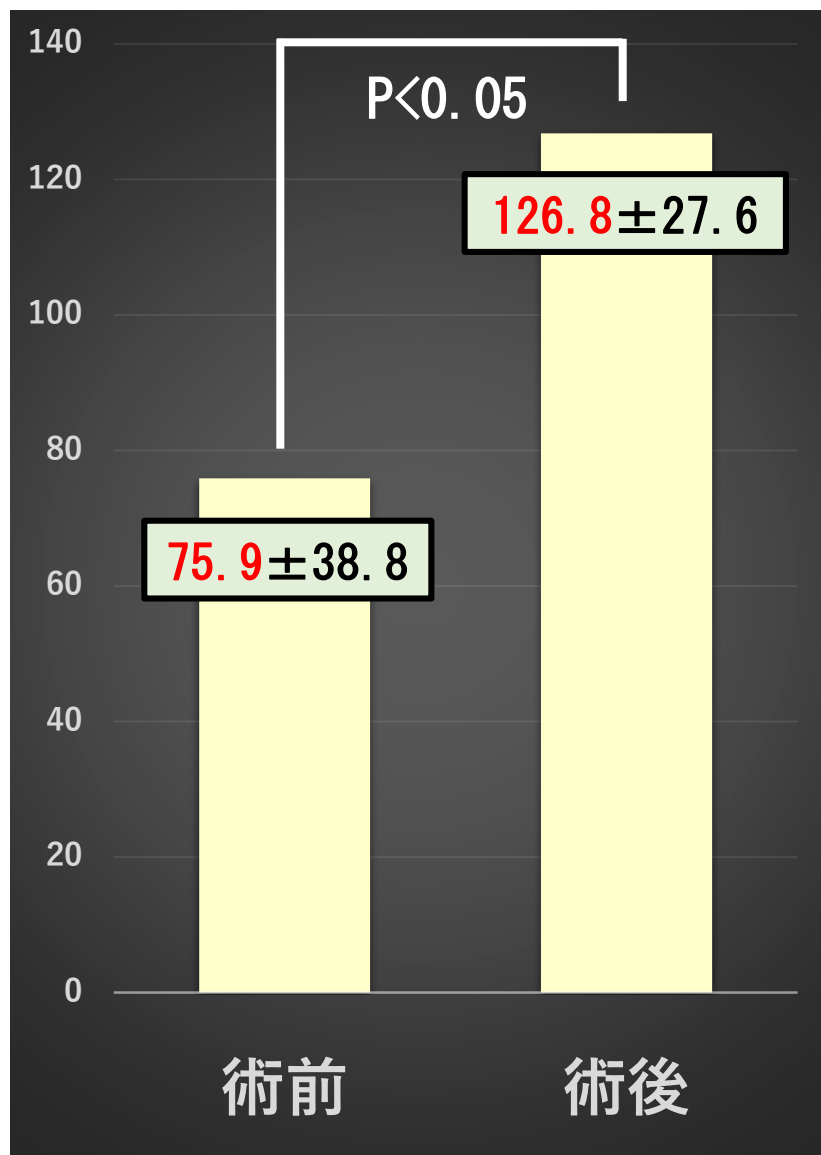


7肩

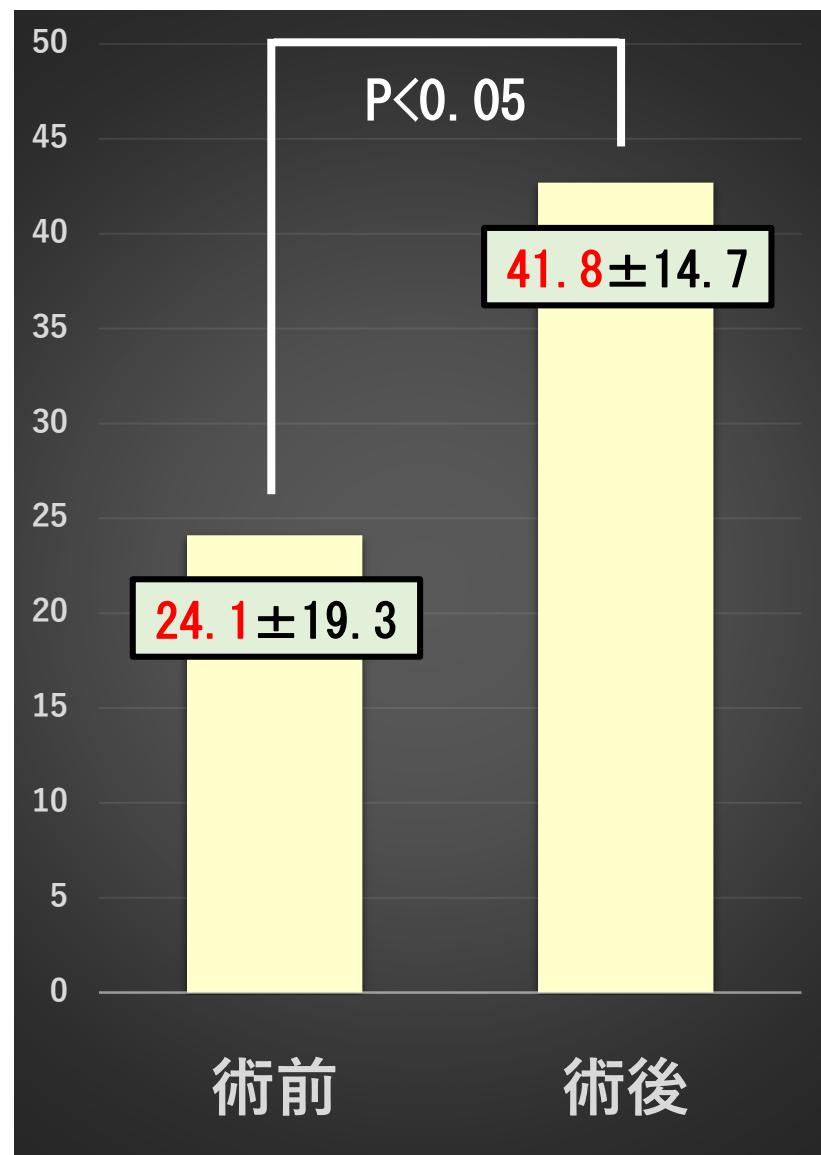
術前後のJOA score



術前後のROM（自動拳上）



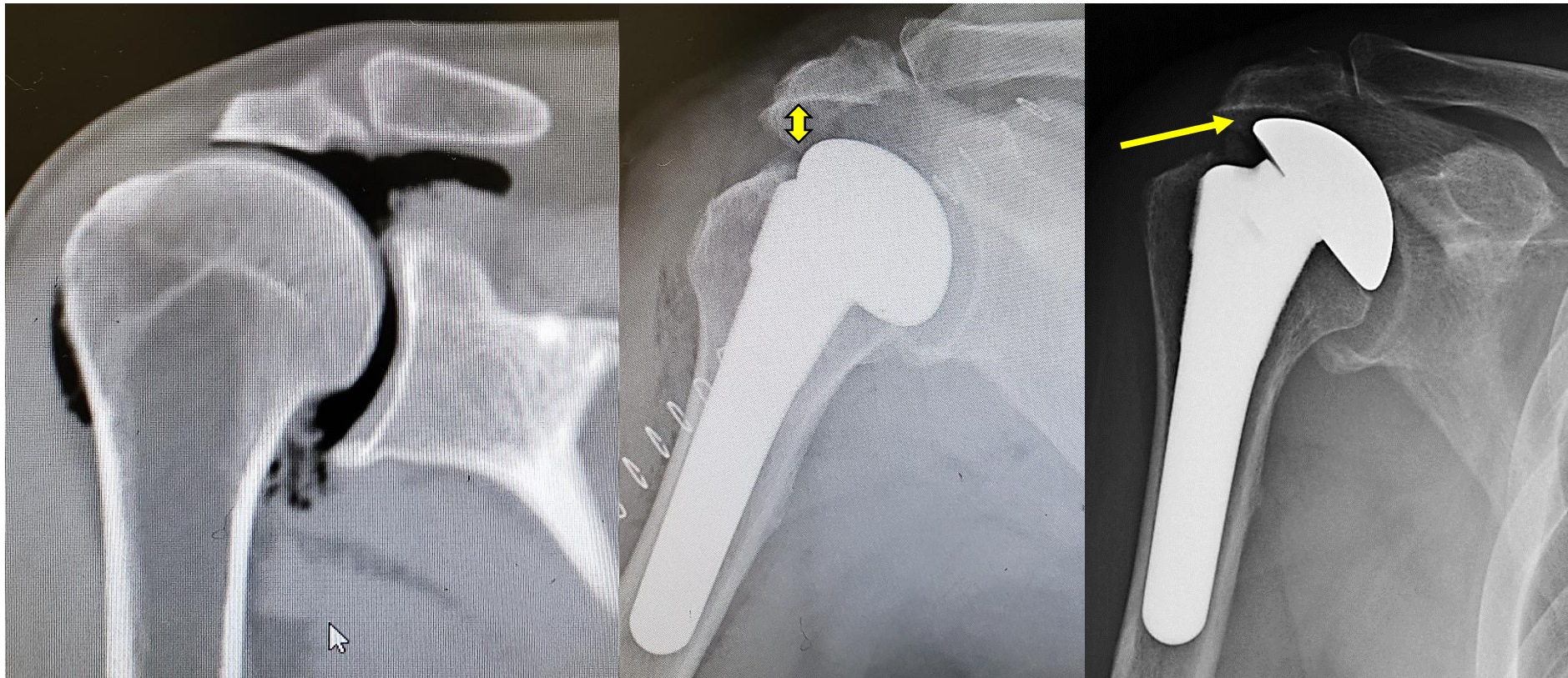
術前後のROM（自動外旋）



合併症

修復腱板の再断裂 : 1肩

肩峰骨頭間距離の術後狭小化 : 1/11肩



術前

術直後

術後

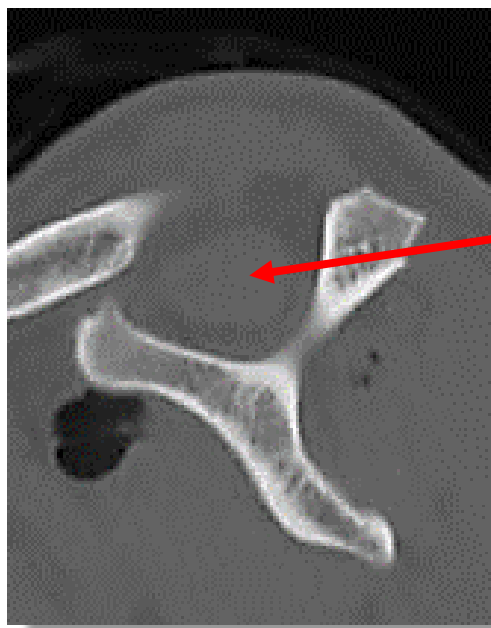
症例

69歳 男性 転倒して右肩挙上不能





肩甲下筋



小円筋

肩甲下筋

棘下筋

棘上筋

肩甲下筋

上腕二頭筋長頭腱

後

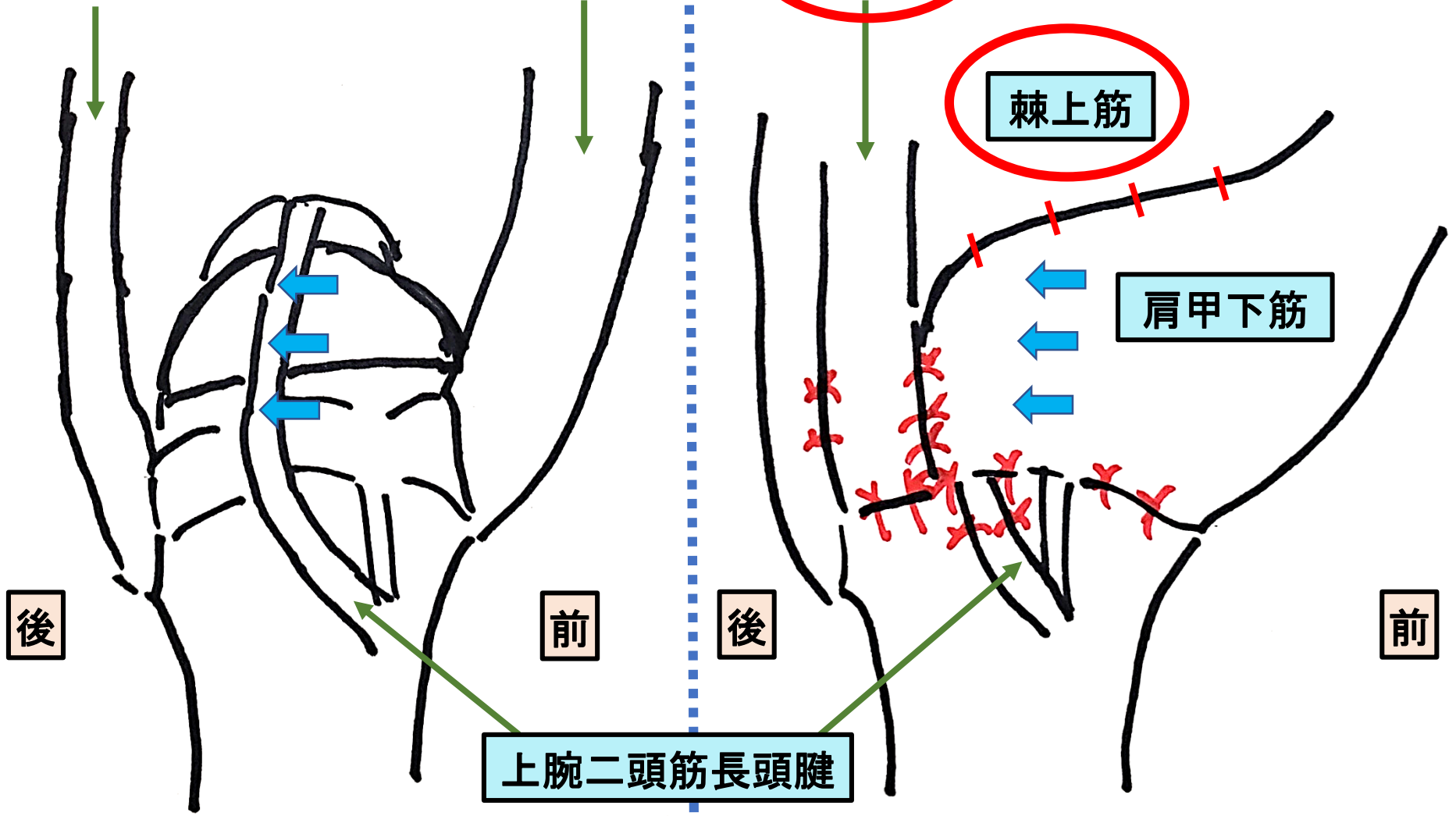
前

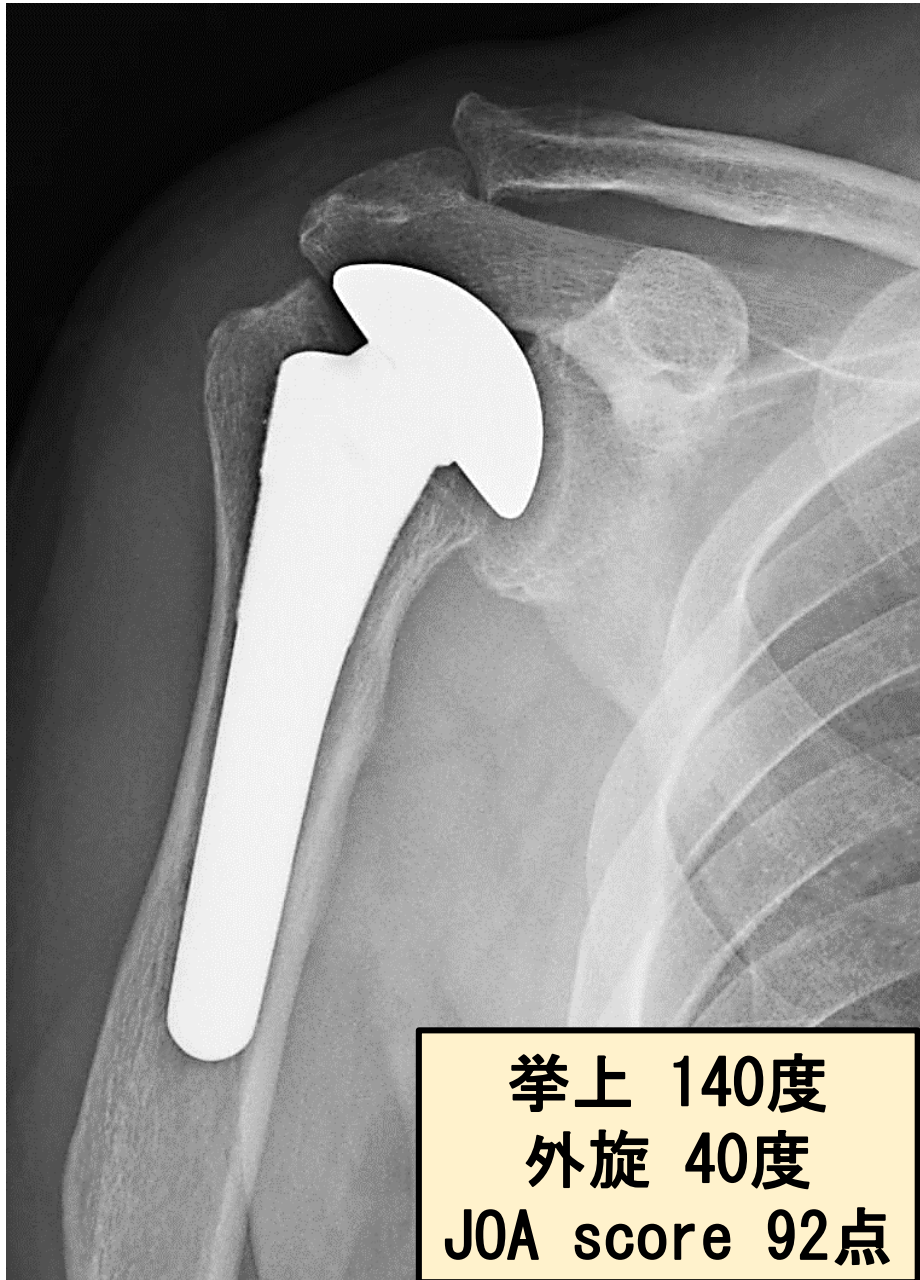
後

前

上腕二頭筋長頭腱の後方移行

肩甲下筋移行





考察

小径骨頭腱板修復術の利点

- 関節症による疼痛を改善
- 関節容量を減少（小径骨頭）



腱板の修復を容易にして再断裂を減らす

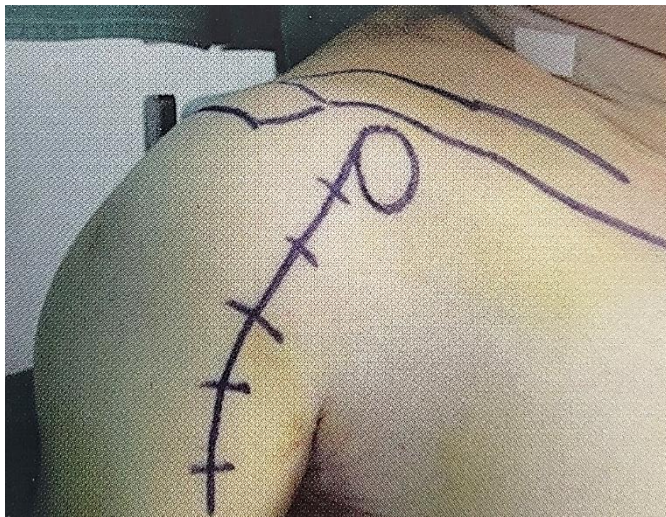
- リバーズ人工肩関節置換術への変換

（大泉 尚美^他. 整・災外, 2014）

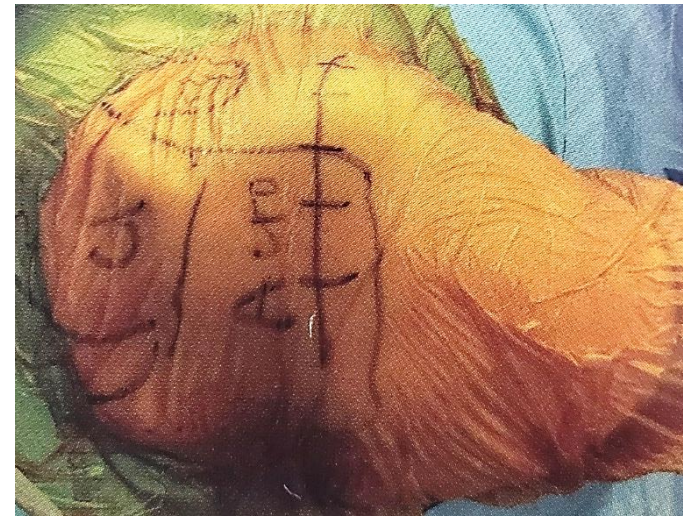
（Urita, A et al. Bone Joint J, 2015）

アプローチ法

前方アプローチ



上方アプローチ



骨頭の骨切り

○

○

インプラント挿入

○

△

腱板修復

△

◎

小径骨頭腱板修復術の合併症

- 肩甲骨関節窩の摩耗
- 烏口肩峰アーチの破綻による骨頭の
前上方への亜脱臼
- 修復腱板の再断裂

(当真 孝^他. 整・災外, 2018)

まとめ

小径骨頭腱板修復術の治療成績について検討した。

術後短期間ではあるが、比較的良好な成績が得られた。